

しょうに  
小児

ぐんじん      しょうに  
軍人は小児に近いものである。

えいゆう      み      ぶ  
英雄らしい身振りを喜んだり、いわゆる  
こうえい  
光栄を好んだりするのは今さらここにい  
ひつよう  
う必要はない。

き   かいて   き      くんれん      たつと      どうぶつてき      ゆ   う   き      おも  
機械的 訓練を 貴んだり、動物적 勇気を 重  
んじたりするのも小学校にのみ見得る  
げんしょう  
現象である。

さつりく  
殺戮をなんとも思わぬなどは一層小児と  
選ぶところはない。

に      ら   つ   ぱ      ぐん   か  
ことに小児と似ているのは喇叭や軍歌に  
こ   ぶ      たたか  
鼓舞されれば、なんのために戦うかも問  
わ   ず      きんぜん      てき  
わず、欣然と 敵に当たることである。

このゆえに軍人の誇りとするものは必ず  
小児の玩具に似ている。

緋緘の鎧や鍬形の兜は成人の趣味にかな  
ったものではない。

勲章も——わたしには実際不思議である。

なぜ軍人は酒にも酔わずに、勲章を下げ  
て歩かれるのであろう？